

業 種	タクシー
取組分野	社内情報伝達及びコミュニケーションの確保
テ ー マ	一人一人に働きかけ、自主性を引き出す教育・指導
取組の狙い	乗務員とのコミュニケーション強化と、乗務員の自主的な安全活動を定着させ、安全を実現する職場風土を醸成する。
具体的内容	<p>1. 日の丸交通(株)では、「全体を対象にして教育や指導を行っても、なかなか一人一人に響かない」という思いから、グループワークを中心に事故防止のための教育指導を進めています。また、一人一人の自主性を引き出すよう工夫を重ね、現在では各グループがそれぞれに現場から上がってきた事柄からテーマを選定し、取り組みを進めています。09年度からは3年間の事業計画（いるからプロジェクト※1）を立て、毎年前年比20%の事故削減を、そして3年で半減を実現すべく取り組みを進めています。</p> <p>※1 「いるからプロジェクト」</p> <p>「交通事故の被害者の方にも、お客様にも、自分自身にも、無事に帰ってくることを待っている人がいる」「自分自身、仲間、家族、友人、そしてお客様とその周りに存在する大切な方々・・・待っている人と笑顔で会うために」との意識付けに取り組むプロジェクトです。</p>  <p>2. 具体的には、営業所をそれぞれ4課に分け、その中に8~10人程度で構成されるグループを10グループ程度配置し、グループ単位で与えられた安全に係るテーマに関しブレインストーミングを行います。こうして出された様々な意見・アイデアをKJ法※2を用いながら、グループ毎にとりまとめ、その結果をスローガンとして点呼場に貼りだしています。</p> <p>※2 「KJ法」</p> <p>ブレインストーミング等でカード化された多くの意見・アイデアをグループ化し、論理的に整序して問題解決の道筋を明らかにしていくための手法。文化人類学者、「川喜田二郎」氏の考案。</p> <p>グループワークを立ち上げた頃は、会社側でグループワークの準備をし、リーダーをサポートしていましたが、現在は、開催前月にリーダーを集め方針を打合せ、あとは各リーダーに任せられています。</p> <p>事故惹起者のデータや入社年数などに応じた階層別の研修カリキュラムを作成し、個々の乗務員にあった教育を進めています。</p>

	<p>なお、教室も畳の部屋から机と椅子の部屋に改装するなど事務所環境を整備、管理要員の増強・養成も進められています。</p> <p>3. また、一人一人に働きかけるという意味で、運行管理者・整備管理者・乗務員が一体となって「個別点呼」を実施し、管理者と乗務員のコミュニケーションの強化を図り、連帯感を高めています。</p> <p>4. これらの取り組みをさらに進めていくためには、今後は、課長層のレベルアップが鍵になるとして、課長層の研修を強化していく計画です。</p>
取組の効果	09年度は事故削減目標を達成（-25.1%）しました。自動車保険料の削減にもつながっています。
事業者名	日の丸交通(株) (連絡先：安全マネジメント監査室 電話 03-3815-4991)